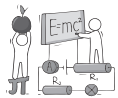




なんだこの見え方は?—錯視の不思議—

【ステージショー】



【個人出展】

青森歯科医療専門学校（青森県） 工藤 貴正

●どんなステージなの？

人はモノを見るとき「目」を使い「アタマ」で考えます。見えるはずのないモノが見えたとき、「なんだこの見え方は?」となりませんか。実は、そのモノ（絵や映像）に秘密があります。このステージでは、「錯視」の現象をとおして、見え方の不思議を体験できます。

●体験のしかたとコツ

【体験のしかた】

動画やイラストを見て、どのように見えるか「錯視」を体験してみましょう。

- (1)回転する映像を30秒間見てから、自分の手のひらを見るとどのように見えるでしょうか（図1）。
- (2)回転するバレリーナの映像を見つけていると、急に回転する方向が変わって見えることがあります（図2）。
- (3)赤いはん点のボードを30秒間見てから、そのあとうらの白いボードを見ます（図3）。どのように見えるでしょうか。
- (4)同じ長さの2枚のヘビのカードが、位置を変えると長さが変わったように見えます（図4）。
- (5)左右どちらの色が濃いでしょうか。
- (6)矢印はどっちを向いているでしょうか。
- (7)白黒のボードを30秒間見てから、そのあとまわりの壁を見ます。どのように見えるでしょうか。



図1

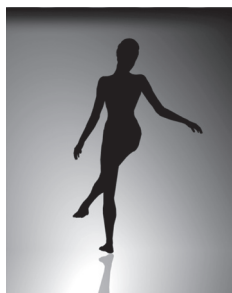


図2

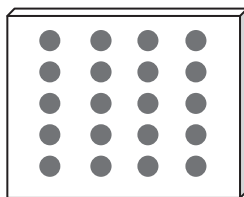


図3

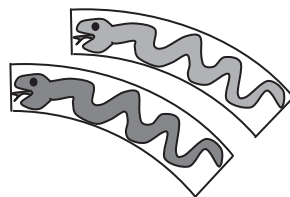


図4

●気をつけよう

やりすぎると、目と頭が疲れてしまうので注意してください。また、立って体験するときは、安全な場所に立ってください。

●もっとくわしく知るために

- ・北岡明佳著「おもしろサイエンス 錯視の科学」日刊工業新聞社（2017）
- ・杉原厚吉監修「鏡で変身!ふしぎ立体セット」東京書籍（2019）